

小学校音楽科における『歌唱共通教材』指導法についての一考察 ～学生アンケート調査を通して～

A Study of Teaching Methods with Singing Common Materials in an Elementary School Music Course ～Based on a Student Questionnaire Survey～

山本裕之

要旨

本研究は、本学発達教育学部児童教育学科2年次生を対象とした、小学校音楽科における歌唱共通教材の学習状況に関するアンケート調査を実施し、小学校音楽科における学生の学習状況を把握するとともに、歌唱共通教材指導法について考察することを目的とする。

キーワード：小学校、歌唱共通教材、音楽科学習指導要領、歌唱指導法

はじめに

平成29年3月に告示され、平成32年度から全面実施される次期小学校学習指導要領音楽科では、音楽科の目標及び各学年の目標において、いずれも(1)「知識・技能」、(2)「思考力・判断力・表現力等」、(3)「学びに向かう力・人間性等」の3つの項目に分けて示された。これは学習指導要領の総則に示されている資質・能力の「三つの柱」と関連付けられている。また、教科の目標においては、育成すべき資質・能力として、「音楽的な見方・考え方を働かせ」、「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる」という文言が加えられた。

「音楽的な見方・考え方」については中教審において次のように説明されている。「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと関連付けること。」すなわち、音楽を形づくっている要素の働きを感性的に捉えて理解すること、それから得られる心の動き、生活や文化などとの関わりについて考えることが重視されている。

さらに、各学年の内容においては歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞のいずれの項目においても、「次の事項を身に付けることができるように指導する」と改められており、身に付けるべき内

容が具体的に示されている。

また、歌唱教材（共通教材を含む）については、現行の「表現」の（４）から各学年に新設された「内容の取扱い」の「（１）歌唱教材は次に示すものを取り扱う。」に移動して示された。現行と同じように、歌唱教材の中でも特に「歌唱共通教材」（各学年４曲×６学年＝２４曲）を取り扱うことが示されている。低学年・中学年は１６曲全てを取り扱い、高学年においては８曲中６曲を取り扱うようにと示されている。

このように、音楽科の限られた授業時間数の中で、歌唱教材の中でも取り分け「歌唱共通教材」を取り扱うように示されている。では、実際に小学校の音楽の授業の中で「歌唱共通教材」がどのように取り扱われているのか。本学学生を対象にアンケート調査を行った。学生が小学校時代に受けた音楽科授業における「歌唱共通教材」について、どのように認知し、またどのように感じているのか。アンケート調査結果を踏まえ、次期学習指導要領におけるキーワードである「主体的・対話的で深い学び」につながる「歌唱共通教材」指導法について考察する。「歌唱共通教材」指導法について考察する。

1. 小学校学習指導要領第6節「音楽」における「歌唱共通教材」の取り扱いの変遷

（１）昭和33年告示・昭和36年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材 3曲（かたつむり、月、日のまる）
- ・ 2年：歌唱共通教材 3曲（春が来た、さくらさくら、雪）
- ・ 3年：歌唱共通教材 3曲（春の小川、もみじ、汽車）
- ・ 4年：歌唱共通教材 3曲（赤とんぼ、村のかじや、子もり歌）
- ・ 5年：歌唱共通教材 3曲（こいのぼり、海、冬げしき）
- ・ 6年：歌唱共通教材 3曲（おぼろ月夜、われは海の子、ふるさと）

（２）昭和43年告示・昭和46年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材 3曲（かたつむり、月、日のまる）
- ・ 2年：歌唱共通教材 3曲（春が来た、さくらさくら、雪）
- ・ 3年：歌唱共通教材 3曲（春の小川、もみじ、村まつり）
- ・ 4年：歌唱共通教材 3曲（茶つみ、村のかじや、子もり歌）
- ・ 5年：歌唱共通教材 3曲（こいのぼり、海、冬げしき）
- ・ 6年：歌唱共通教材 3曲（おぼろ月夜、われは海の子、ふるさと）

（３）昭和52年告示・昭和55年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材 3曲（うみ、日のまる、ひらいたひらいた）
- ・ 2年：歌唱共通教材 3曲（春が来た、夕やけこやけ、かくれんぼ）
- ・ 3年：歌唱共通教材 3曲（春の小川、ふじ山、うさぎ）
- ・ 4年：歌唱共通教材 3曲（さくらさくら、もみじ、とんび）

- ・ 5年：歌唱共通教材3曲（子もり歌、冬げしき、スキーの歌）
- ・ 6年：歌唱共通教材3曲（おぼろ月夜、かりがわたる、ふるさと）

（4）平成元年告示・平成4年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材4曲中3曲（うみ、かたつむり、日のまる、ひらいたひらいた）
- ・ 2年：歌唱共通教材4曲中3曲（春が来た、夕やけこやけ、虫のこえ、かくれんぼ）
- ・ 3年：歌唱共通教材4曲中3曲（春の小川、茶つみ、ふじ山、うさぎ）
- ・ 4年：歌唱共通教材4曲中3曲（さくらさくら、もみじ、とんび、まきばの朝）
- ・ 5年：歌唱共通教材4曲中3曲（子もり歌、こいのぼり、冬げしき、スキーの歌）
- ・ 6年：歌唱共通教材4曲中3曲（越天楽今様、おぼろ月夜、われは海の子、ふるさと）

（5）平成10年告示・平成14年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材4曲中3曲（うみ、かたつむり、日のまる、ひらいたひらいた）
- ・ 2年：歌唱共通教材4曲中3曲（春が来た、夕やけこやけ、虫のこえ、かくれんぼ）
- ・ 3年：歌唱共通教材4曲中3曲（春の小川、茶つみ、ふじ山、うさぎ）
- ・ 4年：歌唱共通教材4曲中3曲（さくらさくら、もみじ、とんび、まきばの朝）
- ・ 5年：歌唱共通教材4曲中2曲（子もり歌、こいのぼり、冬げしき、スキーの歌）
- ・ 6年：歌唱共通教材4曲中2曲（越天楽今様、おぼろ月夜、われは海の子、ふるさと）

（6）平成20年告示・平成23年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材4曲中4曲（うみ、かたつむり、日のまる、ひらいたひらいた）
- ・ 2年：歌唱共通教材4曲中4曲（春が来た、夕やけこやけ、虫のこえ、かくれんぼ）
- ・ 3年：歌唱共通教材4曲中4曲（春の小川、茶つみ、ふじ山、うさぎ）
- ・ 4年：歌唱共通教材4曲中4曲（さくらさくら、もみじ、とんび、まきばの朝）
- ・ 5年：歌唱共通教材4曲中3曲（子もり歌、こいのぼり、冬げしき、スキーの歌）
- ・ 6年：歌唱共通教材4曲中3曲（越天楽今様、おぼろ月夜、われは海の子、ふるさと）

（7）平成29年告示・平成32年実施

- ・ 1年：歌唱共通教材4曲中4曲（うみ、かたつむり、日のまる、ひらいたひらいた）
- ・ 2年：歌唱共通教材4曲中4曲（春が来た、夕やけこやけ、虫のこえ、かくれんぼ）
- ・ 3年：歌唱共通教材4曲中4曲（春の小川、茶つみ、ふじ山、うさぎ）
- ・ 4年：歌唱共通教材4曲中4曲（さくらさくら、もみじ、とんび、まきばの朝）
- ・ 5年：歌唱共通教材4曲中3曲（子もり歌、こいのぼり、冬げしき、スキーの歌）
- ・ 6年：歌唱共通教材4曲中3曲（越天楽今様、おぼろ月夜、われは海の子、ふるさと）

下線の歌唱曲は、平成元年告示・平成4年実施の学習指導要領第6節「音楽」以降より、歌唱共通教材として取り扱われなくなった歌唱教材である。その他の歌唱曲については、取り扱う歌唱共通教材の曲数に違いはあるものの、昭和33年告示・昭和36年実施の学習指導要領第6

2限：59名、3限：60名、4限：21名

○実施日：2017年9月29日（金）2限・3限・4限

○実施方法：楽譜を見せずに、曲名も知らせずに、筆者である授業担当者がピアノ伴奏に合わせて歌唱。

○アンケート結果

表1. 設問1～5（％）

	歌唱共通教材曲	小学校の音楽の授業で歌ったことがある	今までに歌ったり聴いたりしたことがある	今も歌うことができる	この曲が好きである	正確な曲名がわかる
1	うみ	94.9	100.0	64.4	83.1	55.9
2	かたつむり	84.7	100.0	100.0	86.4	72.9
3	日のまる	8.5	33.9	8.5	55.9	5.1
4	ひらいたひらいた	30.5	94.9	37.3	59.3	13.6
5	かくれんぼ	3.4	74.6	39.0	54.2	44.1
6	春がきた	93.2	100.0	98.3	96.6	66.1
7	虫のこえ	78.0	91.5	72.9	88.1	49.1
8	ゆうやけこやけ	69.5	100.0	59.3	83.1	55.9
9	うさぎ	20.0	88.3	36.7	71.7	3.3
10	茶つみ	68.3	91.7	71.7	93.3	40.0
11	春の小川	68.3	96.7	66.7	93.3	41.7
12	ふじ山	33.3	70.0	31.7	75.0	18.3
13	さくらさくら	65.0	100.0	66.7	88.3	6.7
14	とんび	13.3	58.3	10.0	70.0	28.3
15	まきばの朝	3.3	23.3	6.7	70.0	3.3
16	もみじ	81.7	100.0	80.0	96.7	48.3
17	こいのぼり	28.6	90.5	23.8	71.4	47.6
18	子もり歌	33.3	90.5	61.9	52.4	38.1
19	スキーの歌	19.0	33.3	14.3	76.2	4.8
20	冬げしき	47.6	100.0	95.2	100.0	57.1
21	越天楽今様	4.8	19.0	4.8	42.9	0.0
22	おぼろ月夜	42.9	90.5	57.1	85.7	33.3
23	ふるさと	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
24	われは海の子	52.4	95.2	61.9	90.5	52.4

(%)

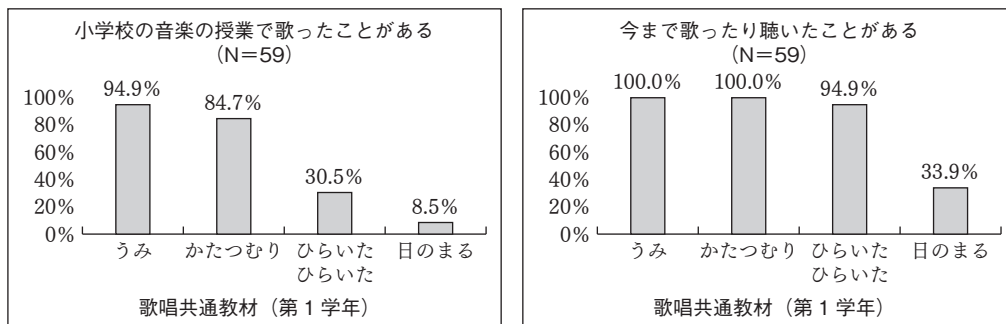
4. アンケート調査結果（設問1及び設問2）と考察

○第1学年

設問1. この歌唱共通教材を、笑学校の音楽科の授業で歌ったことがありますか。

設問2. この歌唱共通教材曲を、今までに歌ったり聴いたりしたことがありますか。

図1. 第1学年（設問1及び2）



設問1については、「うみ」、「かたつむり」を、歌ったことがあると認知している学生が約80%以上である。それに対して、「ひらいたひらいた」は、約30%とかなり減る。さらに、「日のまる」に至っては、わずか10%にも満たない状況である。

学習指導要領には、上記の歌唱共通教材4曲のすべてが必修教材であると記されているにも関わらず、このように認知の差が大きい理由はどこにあるのだろうか。

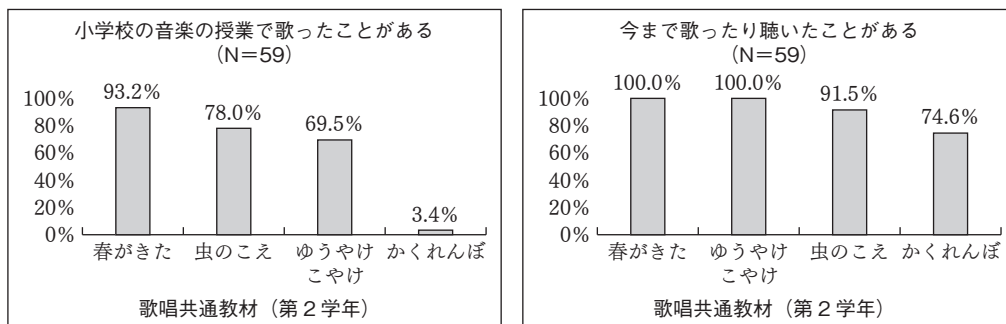
また、設問2については、「ひらいたひらいた」は、設問1の30.5%から94.9%に大きくパーセントが上昇している。これは、歌った記憶はないが遊びを通して聴いた記憶が残っていると考えられる。さらに、「日のまる」については、歌ったことがあると認知している学生が僅か8.5%である。聴いたことがあるとの回答を加えても33.9%と約7割の学生がまったく認知していない状況である。おそらく、授業者である教員が「日のまる」の指導に費やす時間が極端に少ないのではないかと考えられる。この結果の背景には、国歌「君が代」の指導とも関連しているのではないだろうか。この件に関しては、今後、小学校の音楽科担当教員への聴き取り調査を行って解明していきたい。

○第2学年

設問1. この歌唱共通教材を、笑学校の音楽科の授業で歌ったことがありますか。

設問2. この歌唱共通教材曲を、今までに歌ったり聴いたりしたことがありますか。

図2. 第2学年（設問1及び2）



設問1については、「春がきた」、「虫のこえ」、「ゆうやけこやけ」を、歌ったことがあると認知している学生が約70%以上である。それに対して、「かくれんぼ」は、僅か3.4%と極端に少ない。ところが、設問2の「歌った記憶はないが聴いたことがある」を加えると、何と3.4%が74.6%に上昇する。学習指導要領には、1年次の歌唱共通教材と同じく、2年次の歌唱共通教材4曲のすべてが必修教材である。

この結果も、先ほど述べた1年次の「ひらいたひらいた」と同じように歌った記憶はないが遊びを通して聴いた記憶が残っていると考えられる。

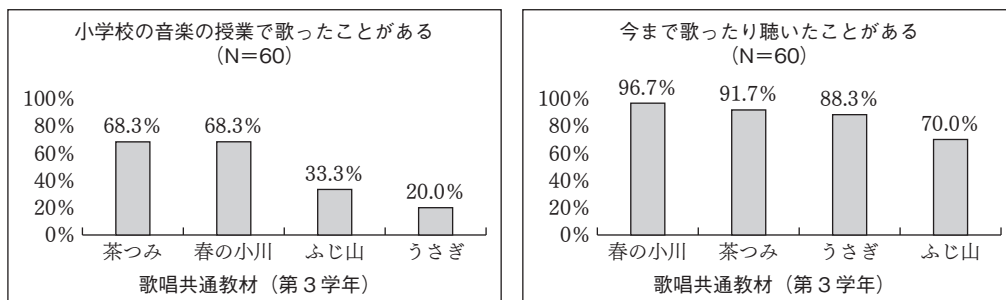
このように、低学年（1年・2年）の歌唱共通教材の身体表現を伴った「遊ぶうた」の要素が含まれる教材曲は、音楽の授業で歌った記憶がない場合でも認知度は大きく向上する。

○第3学年

設問1. この歌唱共通教材を、笑学校の音楽科の授業で歌ったことがありますか。

設問2. この歌唱共通教材曲を、今までに歌ったり聴いたりしたことがありますか。

図3. 第3学年（設問1及び2）



設問1については、「茶つみ」、「春の小川」を、歌ったことがあると認知している学生が約70%である。それに対して、「ふじ山」は約30%と減少し、「うさぎ」に関しては20とさらに減少する。歌った記憶がない学生が、なぜこのように多いのだろうか。

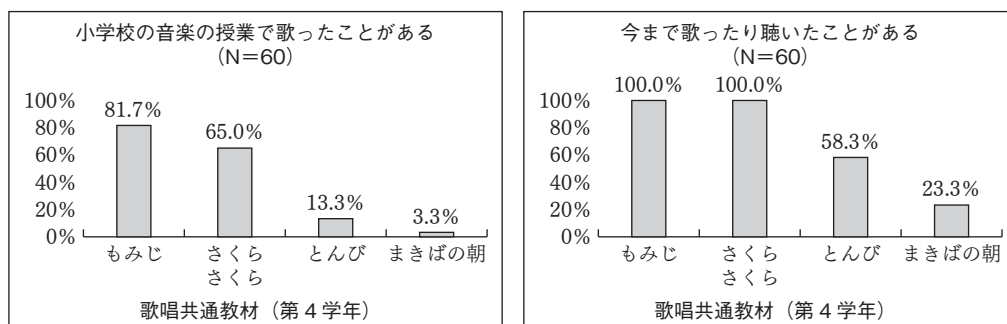
この曲は江戸時代から歌われている日本古謡である。音楽科学習指導要領第3「指導計画の作成と内容の取扱い」では、古くから伝承されてきた「わらべうた」や「民謡」等の日本の伝統的な歌唱教材曲を取り上げるように記されているにも関わらずこの結果である。しかし、この「うさぎ」も、設問2の「聴いたことがある」を加えれば、何と約90%に認知度が大きく上昇する。やはり、この曲も「わらべうた」として遊びの中で歌われたことにより、大きく認知度が上がったと考えられる。

○第4学年

設問1. この歌唱共通教材を、笑学校の音楽科の授業で歌ったことがありますか。

設問2. この歌唱共通教材曲を、今までに歌ったり聴いたりしたことがありますか。

図4. 第4学年（設問1及び2）



設問2については、「もみじ」、「さくらさくら」を、歌ったり聴いたりしたことがあると認知している学生が何と100%である。「もみじ」は日本の秋の情景が思い浮かぶ文部省唱歌の名曲であり、「さくらさくら」は、古くから伝承されてきた陰音階（都節）の日本古謡である。また、海外に日本の四季を紹介する時にもよく演奏される名曲でもある。この2曲については、小学校音楽科の授業でも十分に指導されていることがわかる。

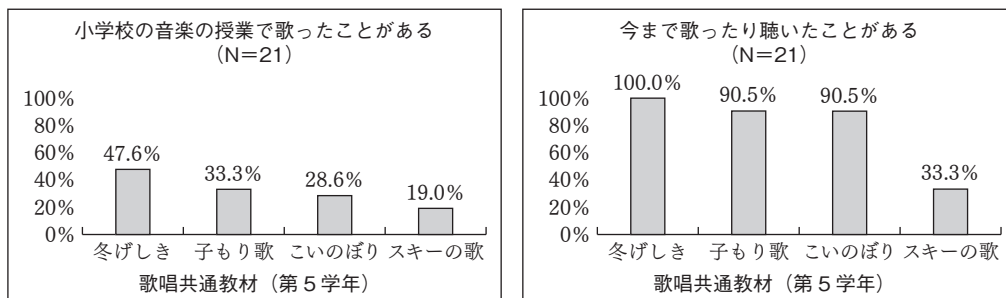
学習指導要領には、3年次・4年次の歌唱共通教材曲8曲のすべてを取り扱うように記されているが、残念なことに「まきばの朝」に関しては、歌ったことがある学生が僅か3.3%である。音楽科の授業で実際に取り扱われたにも関わらず、なぜこのように低いのか、または取り扱われたが学生の記憶には残っていない曲なのか、もう少し調査をしてみたい曲である。

○第5学年

設問1. この歌唱共通教材を、笑学校の音楽科の授業で歌ったことがありますか。

設問2. この歌唱共通教材曲を、今までに歌ったり聴いたりしたことがありますか。

図5. 第5学年（設問1及び2）



設問1については、歌唱共通教材の4曲ともに、歌ったことがあると認知している学生は半数以下である。低学年や中学年とは大きく異なっている。低学年・中学年は、歌唱共通教材の各4曲をすべて取扱うように記されているが、高学年においては4曲中、3曲を取扱うとしている。つまり、音楽科の授業者が取扱う歌唱教材曲を選択できるようになっている。原因としては、このことも影響しているのではないだろうか。

設問2については、「スキーの歌」を除き、残りの3曲とも90%以上と認知度は高い。「スキーの歌」の認知度が、33.3%と極端に低いのはなぜだろうか。前述のように、高学年は歌唱共通教材曲4曲から3曲を授業者が選択できるようになっている点が影響していると考えられる。つまり、「スキーの歌」を取扱わない教員が多いことが原因ではないだろうか。この曲は、「スキーの歌」に相応しい生き生きとした軽快な曲である。しかし、曲中に短7度の跳躍が2回、また長6度の跳躍が2回含まれている。つまり、この度数の大きな跳躍が4回あることにより音程が取り辛いのである。このことが、この曲を取扱わない教員が多い原因かもしれない。

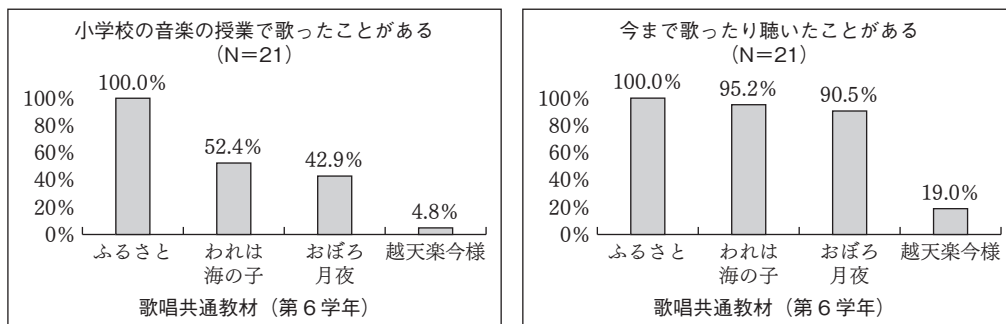
この点も、教育現場の音楽科担当教員に確認してみたい点である。

○第6学年

設問1. この歌唱共通教材を、笑学校の音楽科の授業で歌ったことがありますか。

設問2. この歌唱共通教材曲を、今までに歌ったり聴いたりしたことがありますか。

図6. 第6学年（設問1及び2）



すべての学年において、設問1、設問2の両方ともに100%となった歌唱共通教材曲は、第6学年の「ふるさと」だけである。日本人の誰もが愛する、日本を代表する唱歌と言えるだろう。音楽科の授業時のみならず、様々な場面で歌われる機会が多いことも、この認知度100%に繋がっていると考えられる。

5. 設問3、4、5、6のアンケート結果

図7. 第1学年～第6学年（設問3）

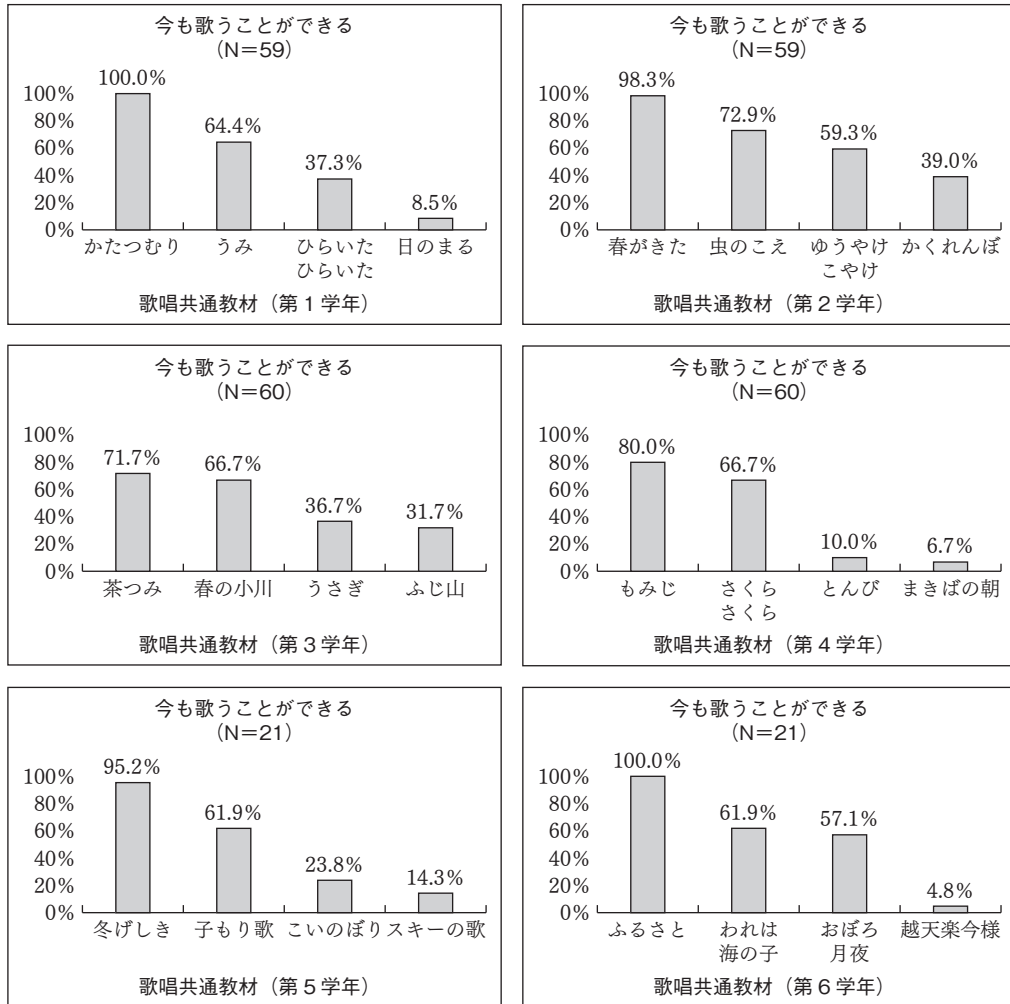


図 8. 第 1 学年～第 6 学年（設問 4）

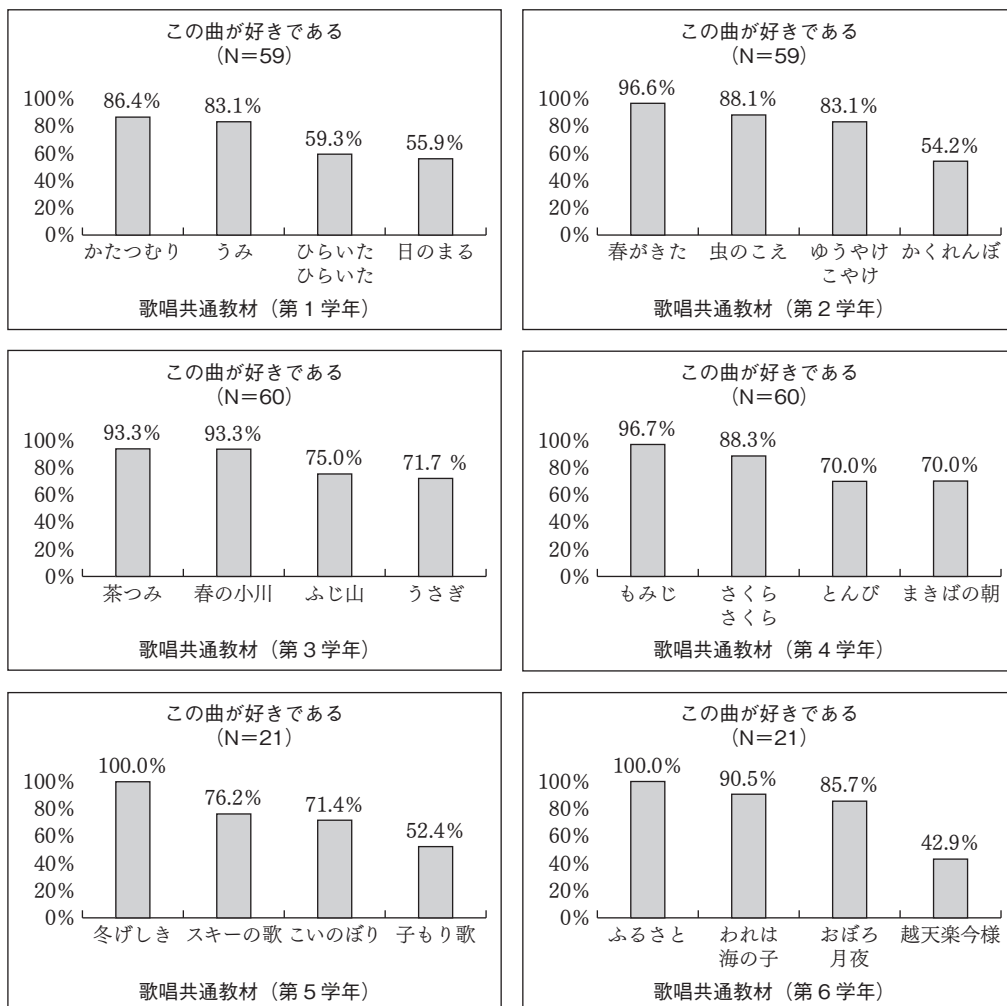


図9. 第1学年～第6学年（設問5）

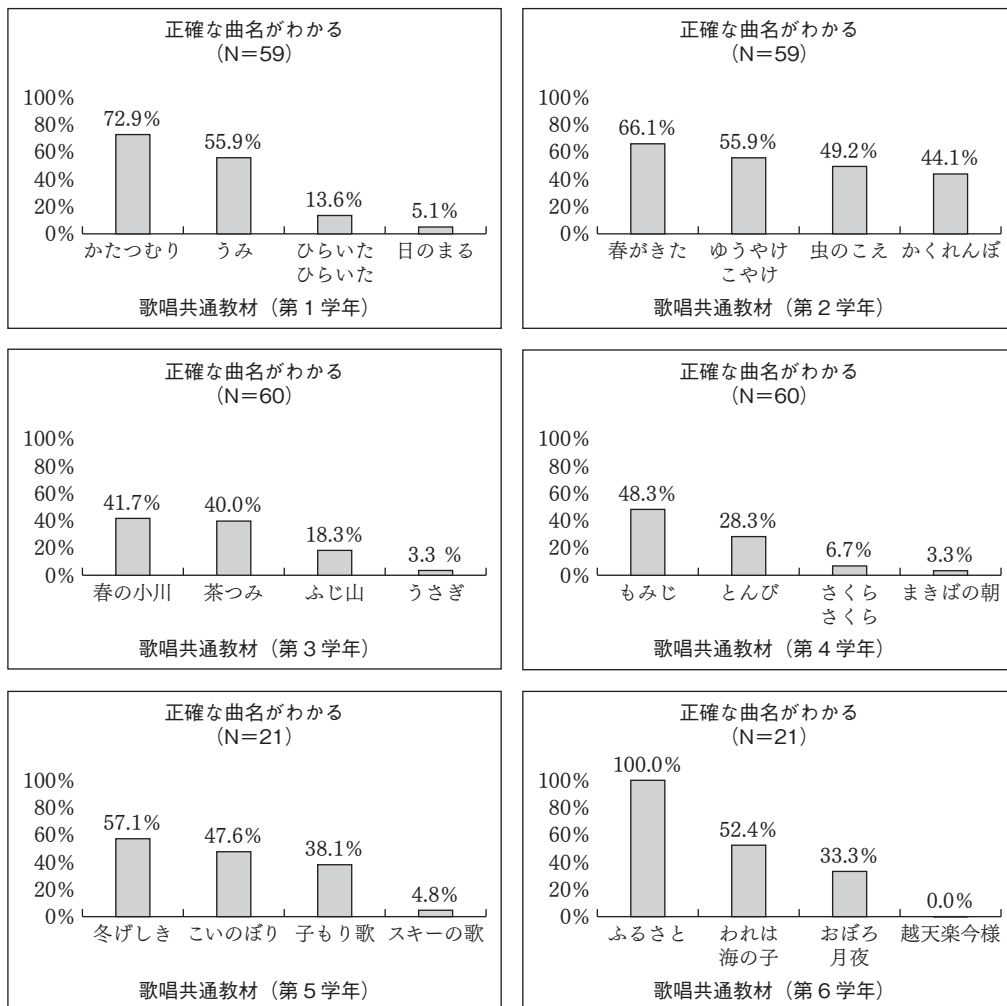


表2. 設問6

	歌唱共通教材曲	主な自由記述回答
1	うみ	懐かしいと思った(7)、落ち着く(5)、海の広さがイメージできる(4)
2	かたつむり	明るくリズムが楽しい(6)、懐かしい(4)
3	日のまる	日本を感じる(4)、戦争の時の歌かなと思いました(3)、初めて聞きました(3)
4	ひらいたひらいた	メロディーが怖い、暗い(5)、花がひらいたりつぼんだり想像できる(2)
5	かくれんぼ	掛け合いが良い(5)、子どもたちのかくれんぼしている様子が目に浮かんだ(4)
6	春がきた	春が来たと感じる(5)、明るくて春を感じる曲(3)
7	虫のこえ	秋を感じた(7)、虫の鳴き声があって楽しい(3)
8	ゆうやけこやけ	懐かしく感じる(4)、夕方の景色が浮かんだ(3)
9	うさぎ	心が落ち着く(4)、秋の十五夜の夜を思い浮かべる(3)
10	茶つみ	懐かしい(5)、お茶を摘んでいる風景が浮かんだ(3)
11	春の小川	楽しい気持ちになった(3)、さわやかな感じ(3)
12	ふじ山	富士山が浮かんできました(3)、堂々とした感じがした(2)
13	さくらさくら	さくらの情景が目に浮かぶ(4)、春を感じる(2)
14	とんび	「ピンヨロー」の鳴き声が面白かった(4)、
15	まきばの朝	青空をとんびが飛んでいるのが思い浮かんだ(3)
16	もみじ	初めて聴いたが、明るく楽しい感じがした(3)
17	こいのぼり	秋の情景が思い浮かぶとともに、秋になったと実感できる(4)、
18	子もり歌	気持ちが落ち着いて穏やかな気分になった(4)
19	スキーの歌	元気いっぱいワクワクする(3)、明るくてリズムが楽しい(2)
20	冬げしき	昔、母や祖母がよく歌ってくれた(4)、聴いていると眠くなる(4)
21	越天楽今様	初めて聴いたが、ノリノリな感じで好きな曲(3)、
22	おぼろ月夜	リズムが楽しく、最後が壮大な感じで格好良い(3)
23	ふるさと	冬の雰囲気を感じた(3)、歌詞が美しくのびのびと歌える(3)
24	われは海の子	物悲しく寂しい感じ(4)、初めて聴いた(3)

6. まとめ

以上、本学学生を対象とした歌唱共通教材に関するアンケート調査結果をもとに、歌唱共通教材曲に対する認知度について考察した。この結果を踏まえて、歌唱共通教材の指導において以下の点に留意する必要があると考える。

○第1学年：歌唱共通教材曲

- ・「うみ」、「かたつむり」、「ひらいたひらいた」の3曲に関しては、認知度がかなり高い。特に、低学年の児童は音楽を聴くと自然に体を動かしたり、旋律を口ずさむなど、音楽を感覚的に感じ取る傾向がある。「うみ」では3拍子のリズムを、「かたつむり」では付点のスキップのリズムを、「ひらいたひらいた」では遊び歌として、身体表現を伴いながら歌唱することが大切であると考え。
- ・「日のまる」については、認知度が極端に低い。国家「君が代」とともに指導法について工夫したい曲である。旋律は四七抜き長音階（五音音階）で、日本の明治以降の唱歌、童謡、演歌などに多く見られる曲である。親しみやすい旋律であるので、キーを下げて移調すれば歌い易い曲である。

○第2学年：歌唱共通教材曲

- ・「春がきた」、「虫のこえ」、「かくれんぼ」、「夕やけこやけ」の4曲ともに認知度が高い曲である。児童にとって親しみやすい旋律であるとともに、情景を思い浮かべながら歌うことができる曲でもある。児童が旋律や歌詞から、さらにイメージを広げられるような言葉がけや教材を準備したいものである。

○第3学年：歌唱共通教材曲

- ・「春の小川」、「茶つみ」、「うさぎ」、「ふじ山」の4曲ともに認知度が高い曲である。第2学年の歌唱共通教材曲と同じく、児童にとって親しみやすい旋律であるとともに、情景を思い浮かべながら歌うことができる曲でもある。「茶つみ」では手遊び歌（手合わせ歌）としてリズムを体で感じながら歌い、また「ふじ山」では絵描き歌として描きながら歌うことも児童の主体的な歌唱に繋がるものと考え。

○第4学年：歌唱共通教材曲

- ・「もみじ」、「さくらさくら」の2曲と、「とんび」、「まきばの朝」の2曲とでは、認知度において大きな差がある。特に「まきばの朝」については、認知度が著しく低い。この要因としては、同じような音型が繰り返される単調な旋律である点と、題材が牧場であり児童にとって身近な存在でないことが挙げられる。ただ、単調な旋律ではあるが、流れるような旋律はレガート唱法に適した曲でもある。そのような観点から指導したいものである。

○第5学年：歌唱共通教材曲

- ・「こいのぼり」、「冬げしき」、「子もり歌」の3曲は認知度がかなり高い。それに対して、

「スキーの歌」は認知度がかなり低い。この要因としては、アンケート調査結果の考察にも述べたが、短7度の跳躍が2回と、長6度の跳躍が2回含まれていることが挙げられる。5年生にとってはかなり難しい跳躍音程である。ただ、難しい跳躍音程ではあるが、教師が難しい曲であると先入観を持って取扱うのではなく、まずは鑑賞から始め、軽快にスキーで駆け抜ける爽快感を、児童に味わわせたいものである。

○第6学年：歌唱共通教材曲

- ・「おぼろ月夜」、「われは海の子」、「ふるさと」の3曲は認知度がかなり高い。それに対して、「越天楽今様」は認知度がかなり低い。この要因としては、旋律が日本音階の律音階の曲である点と、その旋律に付けられた詩の意味が理解しづらかった点によるものと考えられる。どちらかと言えば、この曲に関しては歌唱するよりも雅楽による演奏を鑑賞することに重点を置く方が適切な指導法であると考えられる。
- ・「ふるさと」については、歌唱共通教材24曲中、唯一認知度100の曲である。この要因は、流れるような美しい3拍子の旋律と素晴らしい詩によるものであると考えられる。特に詩の中で、1番が歌手の「過去」を、2番が「現在」を、3番が「未来」を表現しており、児童にもこの唱歌の素晴らしさを理解させたい曲である。

おわりに

本研究では、設問1および設問2のアンケート調査結果について考察を行い、児童が主体的に取り組む歌唱共通教材の歌唱指導法についての考えを述べた。今後は、設問3、4、5、6についても、アンケート調査結果を踏まえ、各歌唱共通教材の「認知度」と「好き嫌い」の相関関係を探るとともに、学生が各歌唱共通教材から感じているイメージを歌唱共通教材の指導にどのように生かしていくかについても考察を深めたい。

参考文献

- ・小学校学習指導要領解説「音楽編」平成20年8月 文部科学省
- ・小学校学習指導要領解説「音楽編：平成29年6月 文部科学省
- ・初等科音楽教育法「改訂版」小学校教員養成課程用
初等科音楽教育研究会編 音楽之友社